

2.4 平成 22 年アンケート調査との比較

2.4.1 平成 22 年アンケート調査の実施概要

平成 22 年当時、阿賀野市総合連携計画策定にあたって、公共交通の利用状況、改善ニーズを把握することを目的にアンケート調査を実施した。

表 アンケート実施概要

調査対象	住民	公共交通利用者
配布対象	・ 18 歳以上の阿賀野市民 (無作為抽出)	①バス利用者、②鉄道利用者
配布・ 回収方法	・ 郵送配布 ・ 郵送回収	・ 直接配布 ・ 郵送回収
配布数・ 回収状況	・ 2,822 票(回収数：1,241 票) 回収率：53.4%	・ 641 票(回収数：157 票) 回収率：24.4%
調査項目 (設問内容)	(1)最近の外出目的と 目的地、利用公共交通、 乗車・下車までの交通手段 (2)バスの利用状況、利用した 理由、満足度、改善ニーズ、 運行内容変更時の利用の意向 (3)鉄道の利用状況、改善ニーズ (4)その他、自由意見 (5)属性 など	(1)配布日の外出目的、目的地、 乗車・下車までの交通手段、利用した 理由 (2)バスの利用状況、利用した理由、 満足度、改善ニーズ、運行内容変更時 の利用の意向 (3)鉄道の利用状況、改善ニーズ (4)その他、自由意見 (5)属性 など

※赤字は平成 28 年のアンケート調査と大きく変わる部分である。

2.4.2 平成22年アンケート調査との比較

■アンケート回答者の属性の比較

【住民アンケート】

- 平成22年では10歳以上の住民、平成28年では10歳代、60歳以上の住民を対象にアンケートを配布した。
- 平成22年に比べ、平成28年の回答者は自動車の保有率が減少し、自転車の保有率が増加している。

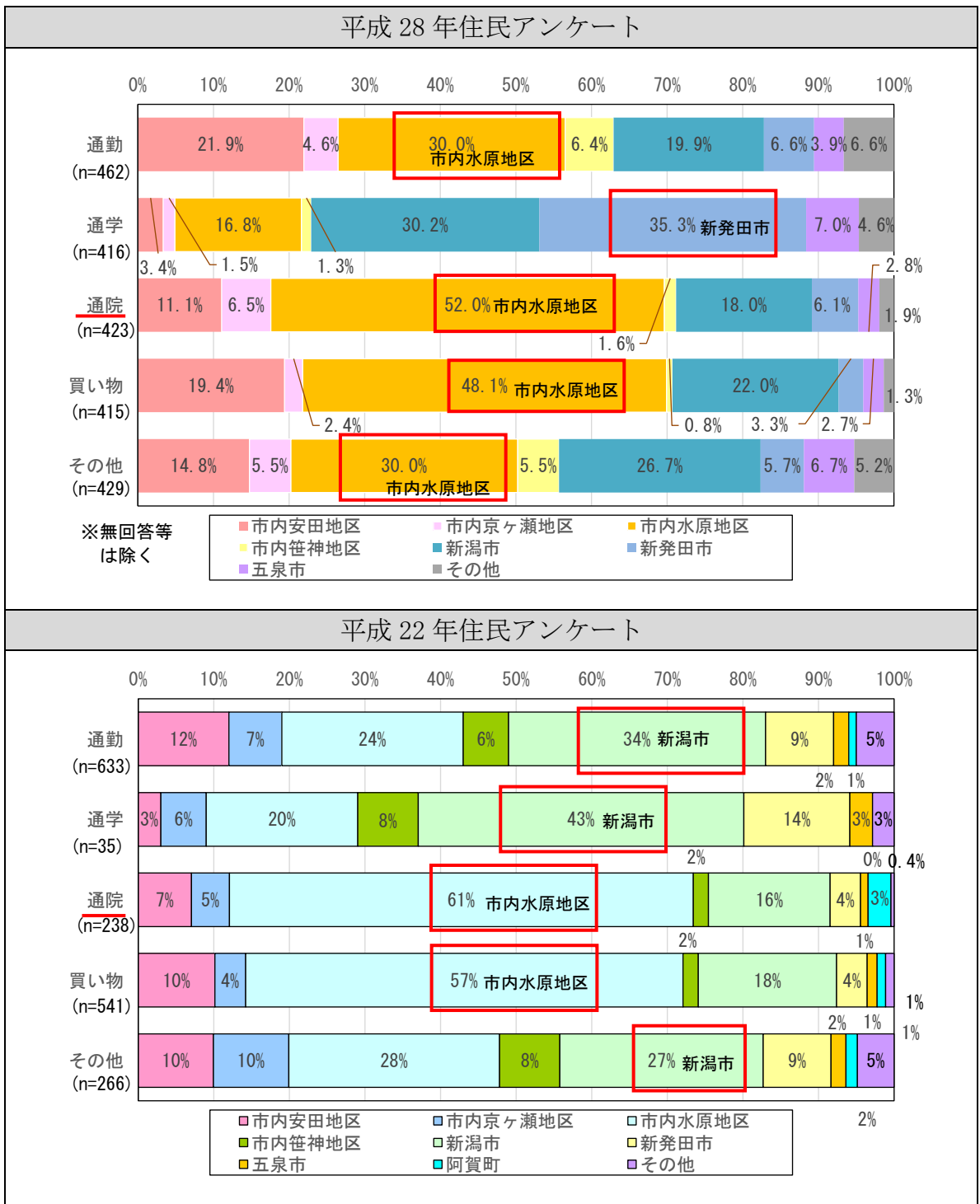
【利用者アンケート】

- 平成22年、平成28年ともに回答者の年齢は公共交通を利用が多いとされる60歳代以上の高齢者、20歳未満で回答者の約7割を占める。
- 平成22年に比べ、平成28年の回答者は乗り物の保有率が減少している。

	平成28年住民アンケート	平成22年住民アンケート
年齢	<p>n=1,377(無回答等を除く)</p>	<p>N=1201</p>
個人で所有又は専用の乗り物の有無	<p>n=1,228(無回答等を除く)</p>	<p>(N=1,298) 複数回答</p>
	平成28年利用者アンケート	平成22年利用者アンケート
年齢	<p>n=69(無回答等を除く)</p>	<p>N=145</p>
個人で所有又は専用の乗り物の有無	<p>n=65(無回答等を除く)</p>	<p>(N=148) 複数回答</p>

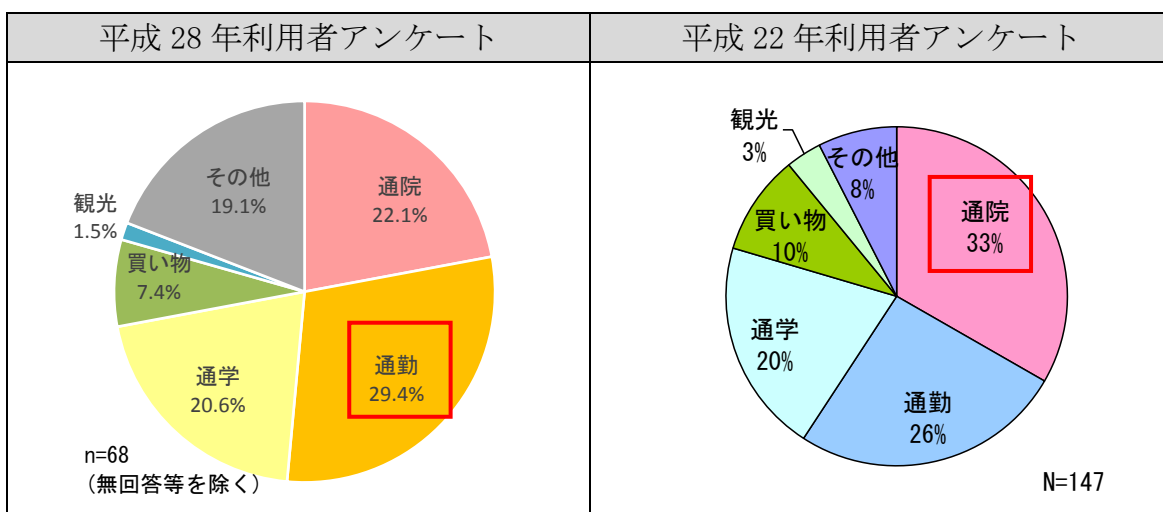
■外出目的別の行き先(住民アンケートのみ)

- 平成 22 年は通勤、通学、その他の目的では新潟市が最も多い行き先であったが、平成 28 年では通勤、その他の目的では市内水原地区、通学目的では、新発田市が最も多い行く先となっている。
- 通院、買い物の目的は平成 22 年、平成 28 年ともに、市内水原地区が最も多い行き先となっている。
- 平成 28 年、平成 22 年ともに阿賀野市内が行き先となる最も多い目的は通院で、次いで買い物が多。



■公共交通の利用目的(利用者アンケートのみ)

○平成 22 年の公共交通の利用目的は通院が最も多かったが、平成 28 年では通勤の目的が最も多く、「その他」の目的が増加した。

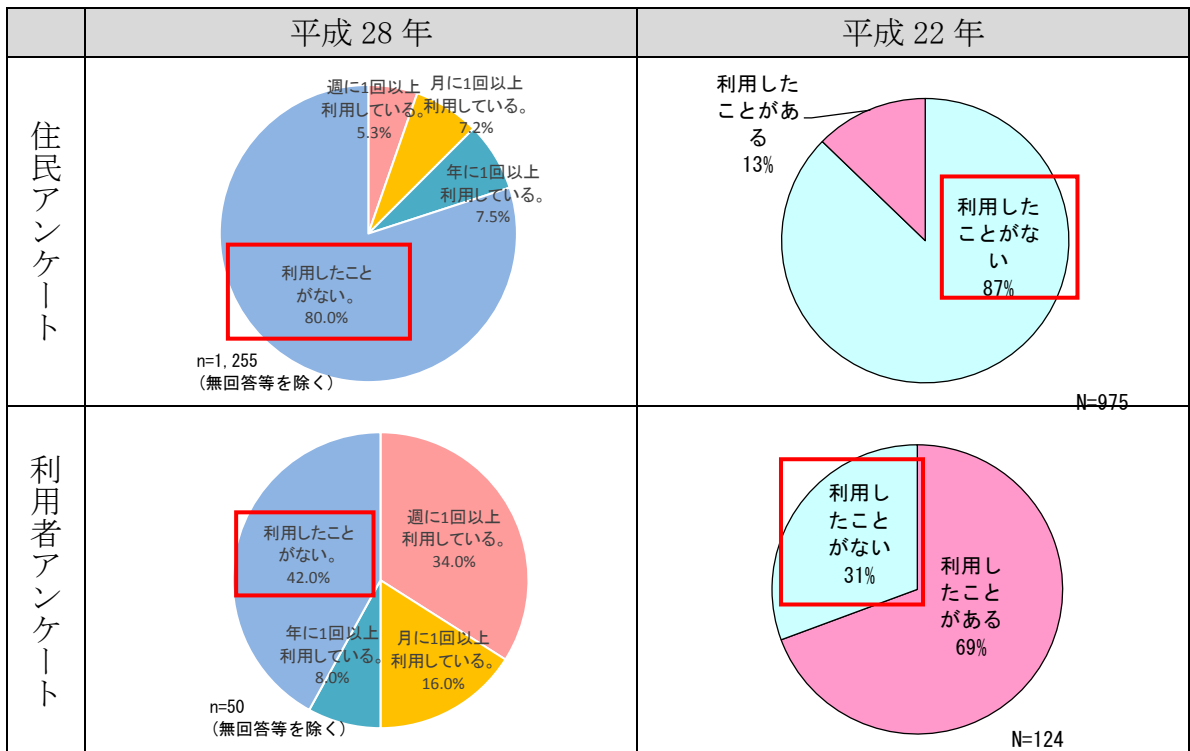


※平成 28 年その他の例

お見舞い、温泉、役所、文化講座の受講など

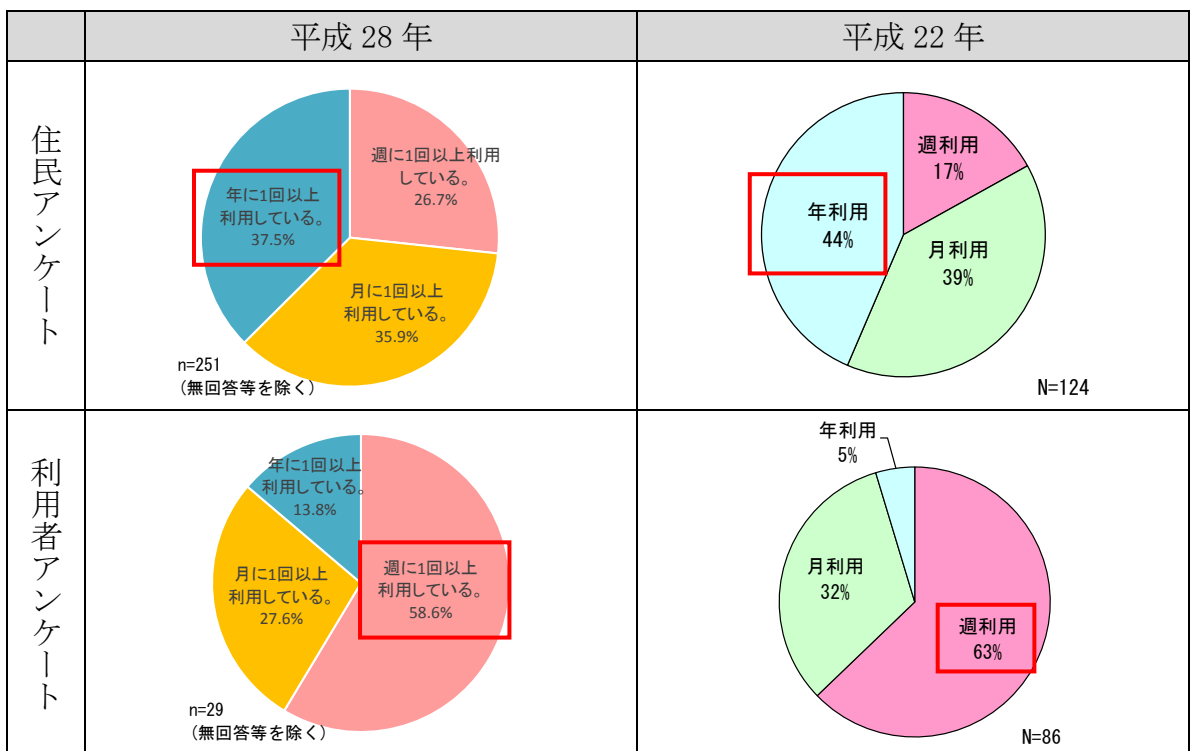
■バスの利用の有無(阿賀野市営バス)

○平成 22 年に比べ、住民アンケートでは、市営バスを利用したことがない回答者の割合が減少したが、利用者アンケートでは増加した。



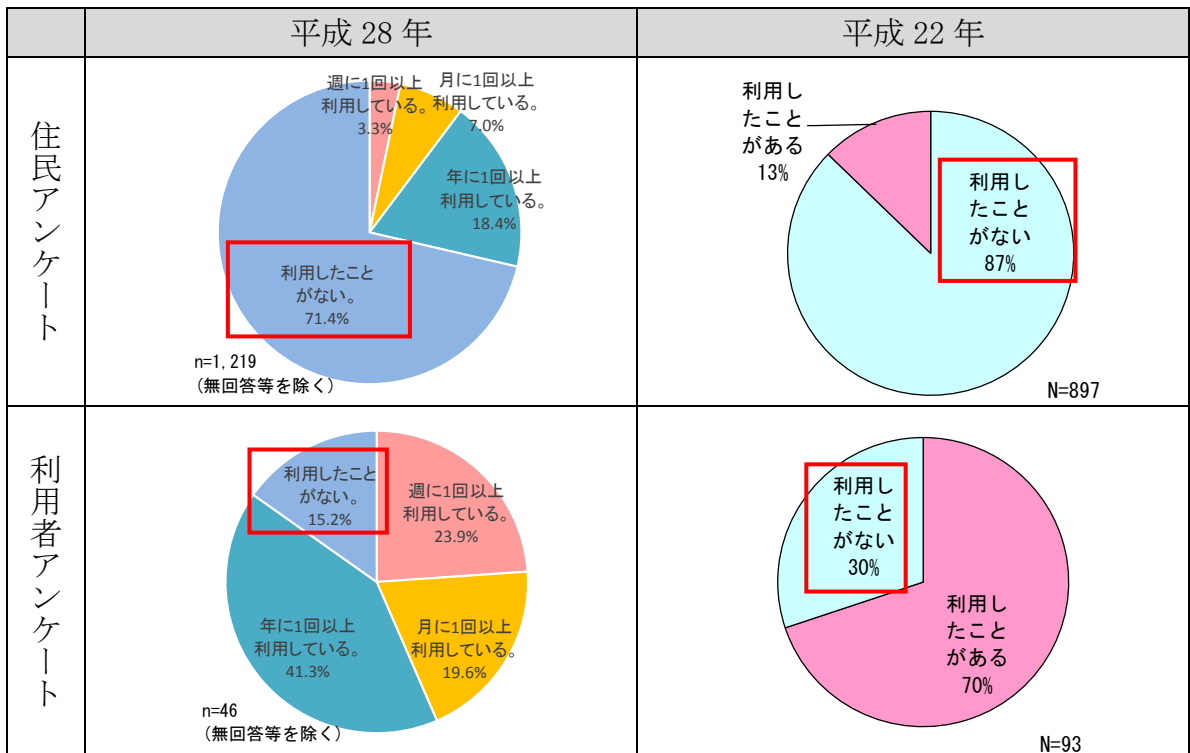
■バスの利用頻度(阿賀野市営バス)

○平成 22 年、平成 28 年ともに、住民アンケートでは年に 1 回以上の利用、利用者アンケートでは週に 1 回以上の利用が最も多い。



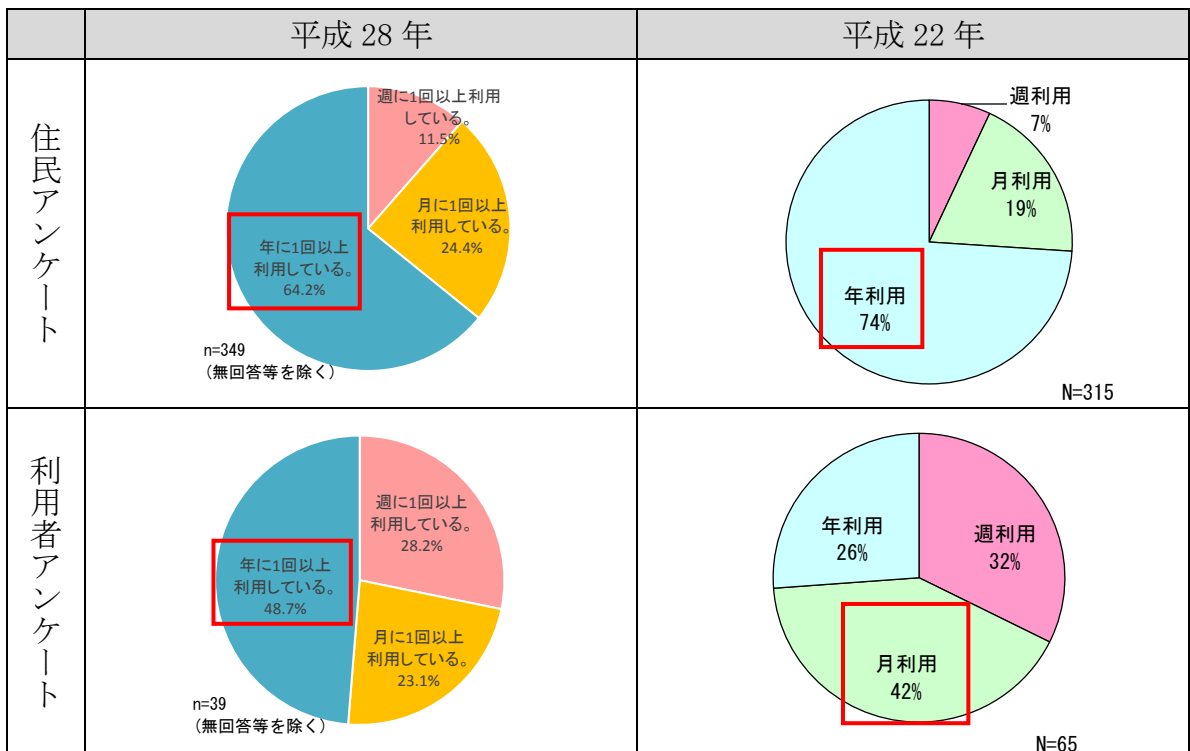
■バスの利用有無(新潟交通路線バス)

○平成 22 年に比べ、住民アンケート、利用者アンケートともに新潟交通路線バスを利用したことがない回答者の割合が減少した。



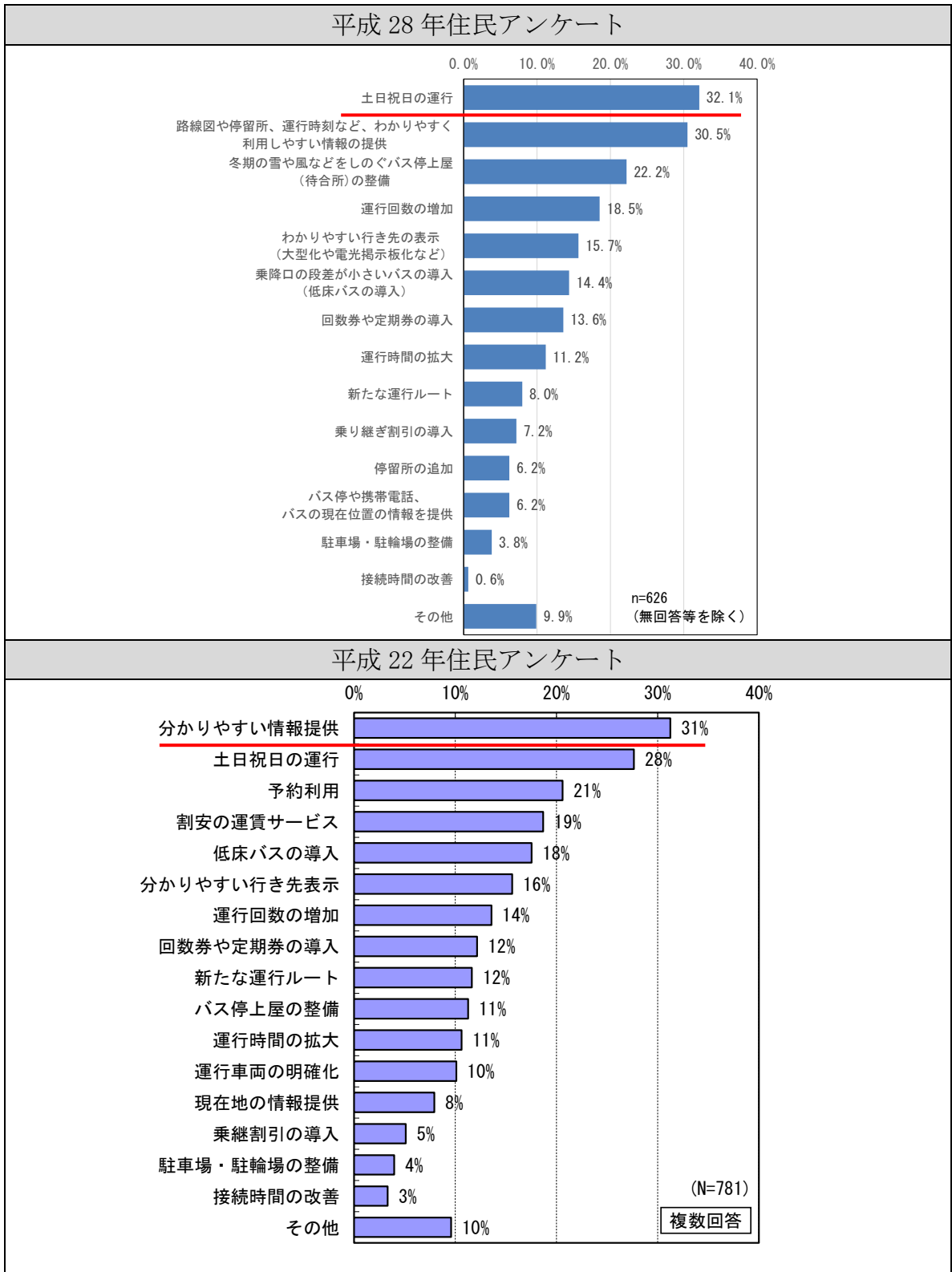
■バスの利用頻度(新潟交通路線バス)

○平成 22 年、平成 28 年ともに、住民アンケートでは年に 1 回以上の利用が多い。
○平成 22 年の利用者アンケートでは、月に 1 回以上の利用が多いが、平成 28 年では、週に 1 回以上の利用が多い。



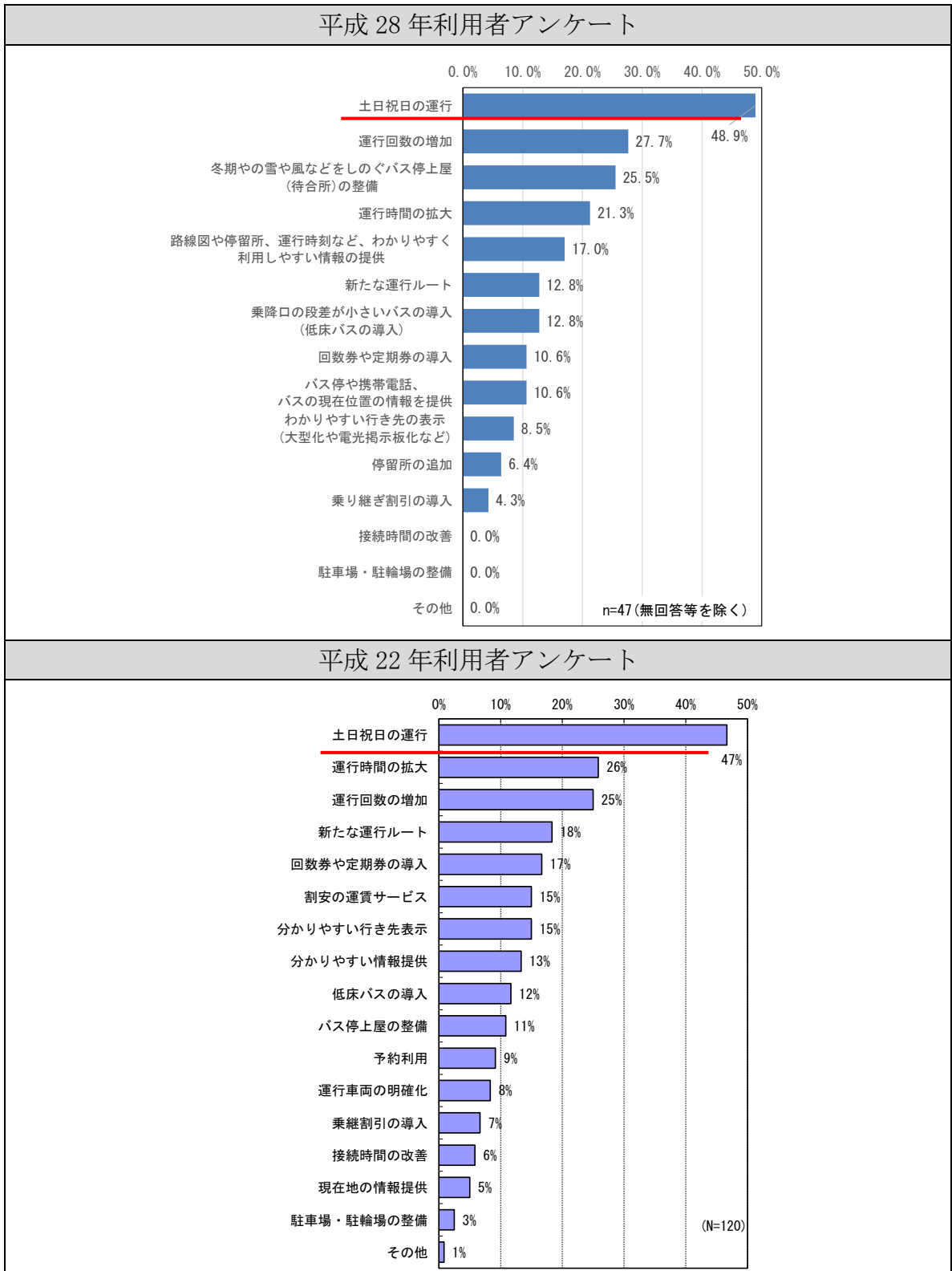
■バスへの改善要望(住民アンケート)

- 平成 22 年、平成 28 年の住民アンケートの回答者は、土日祝日の運行、分かりやすい情報提供の改善要望が多い。
- 平成 22 年に比べ、平成 28 年はバス停上屋の整備の要望が増えた。



■バスへの改善要望

- 平成 22 年、平成 28 年ともに利用者アンケートの回答者は土日祝日の運行の改善要望が最も多い。
- 次いで多いのは、平成 22 年では運行時間の拡大であり、平成 28 年では運行回数の増加である。
- 平成 22 年に比べ、平成 28 年はバス停上屋の整備の要望が増えた。



■バスの運行に対する満足度

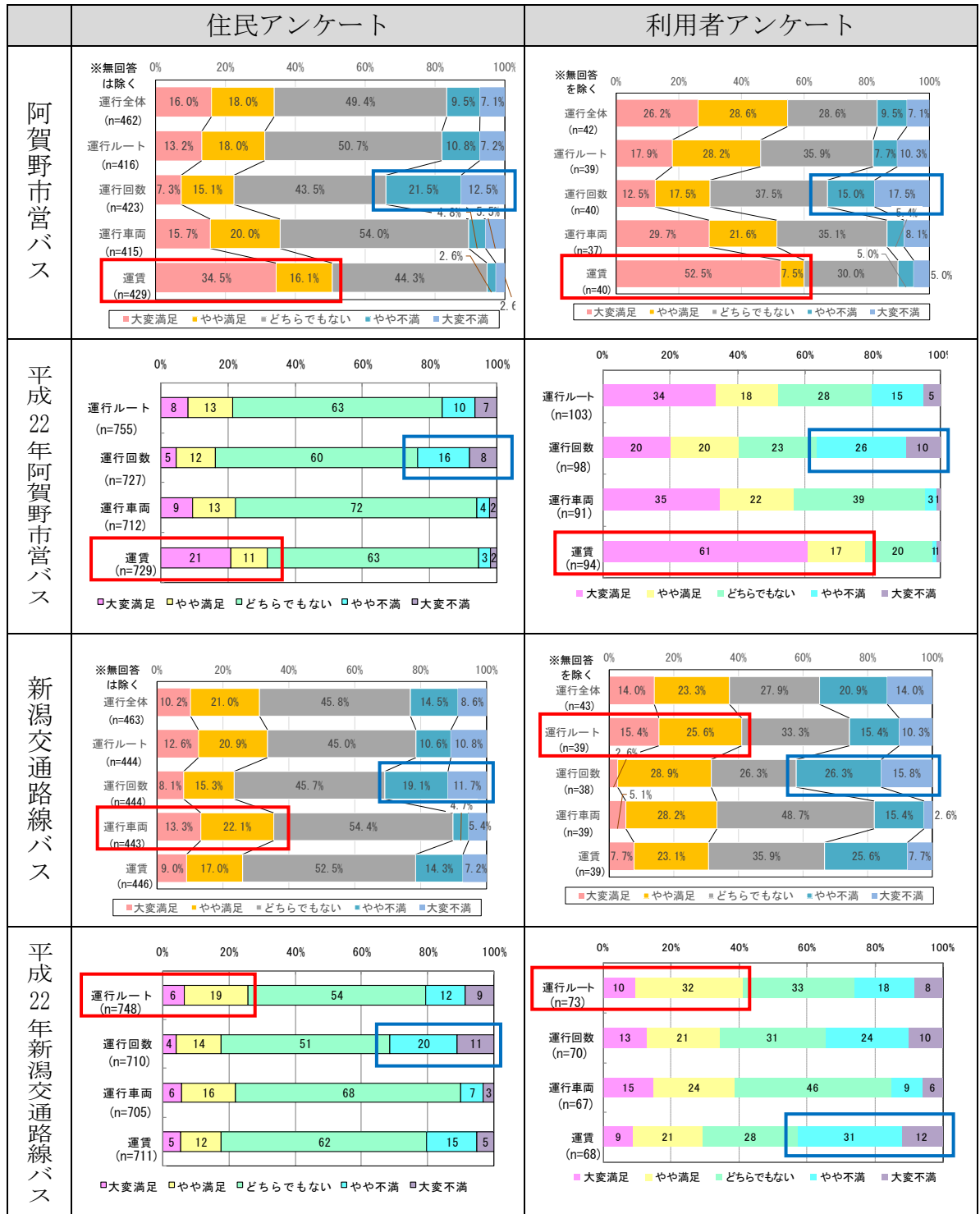
【阿賀野市営バス】

○運賃の満足度が最も高く、運行回数の満足度が最も低いことは変わっていない。

【新潟交通路線バス】

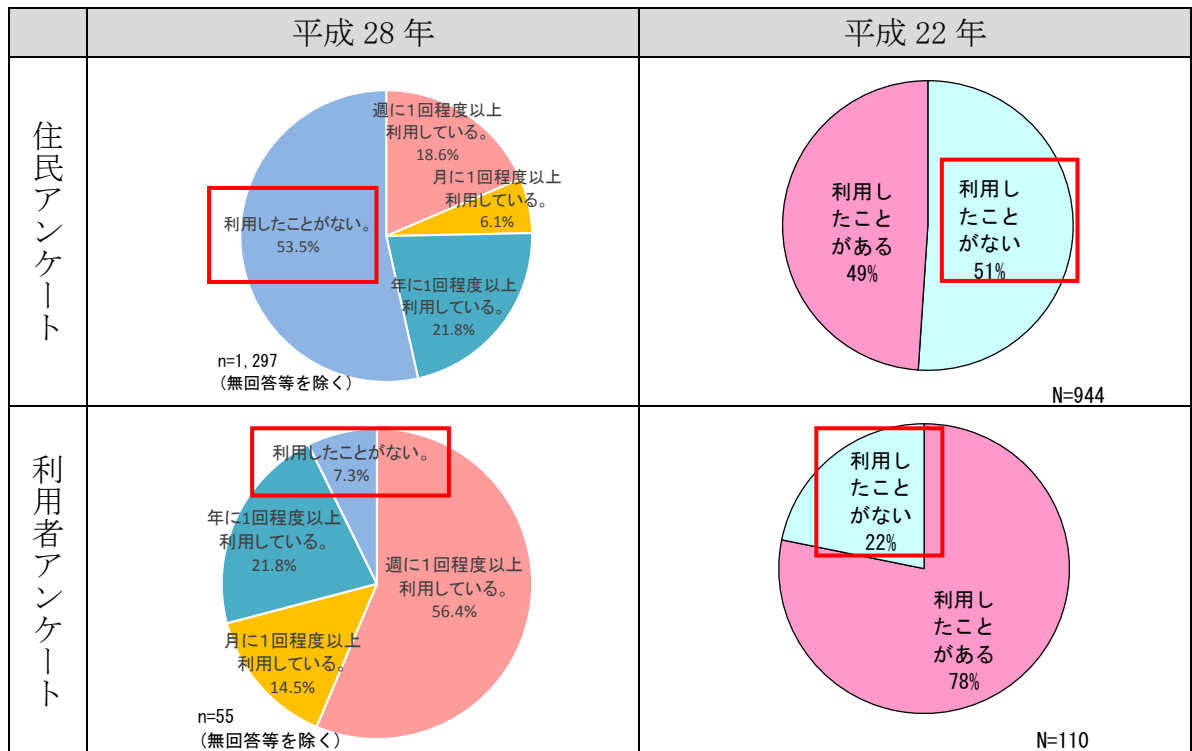
○運行ルート、運行車両の満足度が比較的高いことは変わっていない。

○平成 22 調査時には運賃への不満度が最も高かったが、平成 28 調査では運行回数への不満度が最も高い。



■鉄道の利用有無

○鉄道を利用したことがない回答者の割合は、住民アンケートでは、平成22年に比べ平成28年では横ばいであるが、利用者アンケートでは減少している。



■鉄道の利用頻度

○平成22年、平成28年ともに、住民アンケートでは年に1回以上の利用、利用者アンケートでは週に1回以上の利用が最も多い。

